



▲褒状「灯籠流し」前田 三興



▲褒状「歓喜」武内 和子



▲特選「火花」岡村 雄策

芸術祭 入賞作品

写真は、10月9日に香美市役所で行われた香美市芸術祭写真審査会入賞作品です。

▲褒状「お別れ佐岡小学校」前田 鈴代



▲褒状「凝視」川谷 秀典



▲褒状「まだ〜」明石 正



▲褒状「里帰り」吉田 公一



▲特選「一握の米」山崎 静香



▲特選「おすそわけ」吉井 揚子

短歌会・俳句会

(9月28日・香美市役所)

〔短歌会〕 (選者 岡崎桜雲氏)

特選 梅の実は落ちるにまかせちちははを
恋ふる夜のあり雨の音して 佐竹 玲子

特選 五人の娘を育みくれし母逝きぬ
生れし八月の風に抱かれて 吉本 悦子

褒状 夏に強き先生夏に逝きたまふ
路頭に迷ふ吾ら残して 都築 初代

褒状 若人は海兵、陸士、飛行兵、
召されて居らぬ青春時代 山下 弓枝

褒状 行く道の先々に咲く百合しろし
塩屋の海のけふ閑かにて 小松もとみ

褒状 「巨星降つ」その語のみにはすまされぬ
この喪失感渦のただ中 古川 安子

褒状 豊穣のむせる刈り跡ほくほくと
飽かず啄む白鳥いく羽 前川 竜女

高ポイント賞 ゆうべ皆と通夜の帰りに見し満月
けさ西の窓にわれのみを照らす 佐々木真里

〔俳句会〕 (選者 味元昭次氏)

特選 日の暮れに筑紫恋しと鳴かれても
大石 邦男

特選 二番線に白い日傘の母がいる
前田美智子

褒状 吊し柿稜線ゆらす風の歌
山崎 鈴子

褒状 石菖にかくれし谿の水の音
明石 亜生

褒状 河骨のかたむき水のなせるまま
中澤 美晴

褒状 やや傾く赤き半月終戦忌
吉田 芳

褒状 つつがなく暮れて芙蓉の酔ひ深む
小松 愛子

高ポイント賞 敗戦忌殺象虫を日に曝す
森田 菊恵